

二、民族ト國家

三、共産主義社會ノ有無

四、共產主義思想發生ノ根據

五、價值ノ主觀性ニツイテ

六、マルクス主義ト社會科學

七、雜想

デアツチハ之ハ四月六日公判廷ニ於テ無秩序ニ述べ得トヨロノ要約デアル

昭和七年五月二日

服罪ノ前日

大阪地方裁判所檢事局思想部ニ於テ

前 納 善 四 郎

一、社會ト階級

マルクス主義者ハモウ久シイ以前カラ將來資本主義社會ガ共產主義社會ト交替シソレト共ニ社會ニハ全ク階級ガナクナルト確信シアキル之ハマルクス主義學說中ノ主要ナ結論ノ一つデアル。私ハ之ニ大ノ如キ權貴ヲ對立セシメル。

「社會ノアル限り絕對ニ階級ハナクナラナイ。即チ階級ノナイ社會ハアリ得ナイ」

以下ソノ理由ヲ示サウ。

理由トシテ私ハ學ゲヘトスルトヨロハ極メア理解シ易イ普通的事實デアツチ理性アルモノハ凡テガ等シタ容認スルトヨロデアル。ソレハ萬人ガ皆各々ノ異ツタ能力ヲ先天的ニ享ケ且ソソノ各自ノ能力ヲ能フ限り伸長セシメツ、生存競争場裡ニ伍シテキルトイコトデアル。コレハタマニ生産ニ於テノミナラズ凡ニル生活部面ニ於テ日常行ヘレテキルコトデアル。何人モ自己ノ能力ヲ引下ゲテヨリ能力ヒタサ人